KNIPEX Quality – Made in Germany

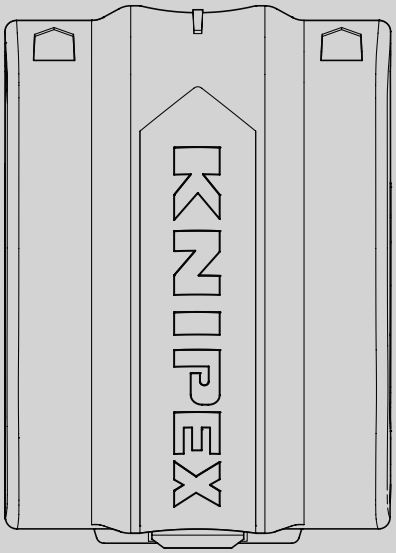
取扱説明書

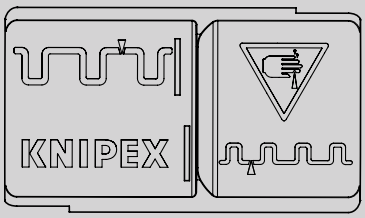
90 22 10 V01

JP

KNIPEX BiX® CT56

プラスチックパイプ、ドリップスリーブ、シールスリーブ、波形パイプ用のカッター





目次

1 全般 3
1.1 取扱説明書に関する注意事項 3
1.2 使用されている記号 3
1.3 著作権 3
1.4 保証および保障 3

2 安全性 4
2.1 使用目的 4

3 デザインと機能 5
3.1 デザイン 5
3.2 機能 5

4 操作方法 6
4.1 ブレードブロックの位置調整 6
4.2 プラスチックパイプの切断 8
4.3 ドリップスリーブおよびシールスリーブの切断 9
4.4 波管の切断 10

5 保守作業 12
5.1 ブレードの交換 12

6 波管切断への改造用アクセサリー 14
6.1 工具の改造 14

7 技術データ 15
7.1 技術データ 15

8 処分 15

1 全般

1.1 取扱説明書に関する注意事項

これらの操作手順は、ツールを安全かつ効率的に使用できるように設計されています。 ツールは技術的に完璧な状態である場合にのみ使用できます。技術開発の結果、これらの操作手順に含まれる図や説明は、実際に提供されるツールと若干異なる場合があります。これらの操作手順に従わなかったことにより生じた損害については、当社は一切責任を負いません。

1.2 使用されている記号

この操作手順書に記載されているすべての安全上の指示は、対応するアイコンで示されています。 各安全指示の冒頭にある注意喚起語は、危険の程度を表します。

危険!

レベル1のリスク源 -

この記号と信号語の組み合わせは、回避しないと死亡または重傷につながる差し迫った危険な状況を示します。.

警告!

レベル2のリスク源 -

この記号と信号語の組み合わせは、回避しないと死亡または重傷につながる可能性のある危険な状況を示しています。

注意!

レベル3のリスク源 -

この記号と信号語の組み合わせは、財産や環境への損害を防ぐのに役立つ重要な情報を意味します。

1.3 著作権

この操作手順書およびこのツールに付属するすべてのドキュメントは著作権で保護されており、KNIPEXの所有物となります。これらの指示の転載は、抜粋形式であっても、C. Gustav Putsch KGの書面による同意がある場合にのみ許可されます。

1.4 保証および保障

製造元は、現在の販売および配送条件に従って法定保証を付与します。 それ以上の保証や確約は与えられません。保証期間中、材料の欠陥または製造上の誤りに起因するすべての欠陥の修正が保証の対象となります。 消耗部品は保証の対象外となります。ツールの修理または交換によって保証期間が延長されることはありません。ツールは、古い部品と同等の機能を持つ「新品同様の」部品のみで修理または交換する必要があります。 欠陥があり交換された部品はすべて製造元の所有物となります。

特に以下の場合には保証請求は失効します:

- 不適切な操作を行ったこと、製造元が指定した目的以外で使用したこと、または保守が不十分なことによって損傷が生じた場合
- 修理や改造が無許可の人物により行われている。
- KNIPEXの純正のアクセサリーやスペアパーツが使用されていません。
- 欠陥のある部品は直ちに修理する必要があります。損傷の程度を最小限に抑えるとともにツールの安全性を損なわないようにするためです(修理義務)。

その他については、現在の販売および配送条件の責任および保証規定を参照してください。

2 安全性

2.1 使用目的

このツールは以下の用途に適しています。

- 直径20～56 mmのプラスチックパイプの切断（肉厚2.4 mmまで）。切断する部分は、少なくとも25 mmの長さが必要です
- 直径19～56 mm、波幅最大4.7 mmまでの波管の切断
- ドリップスリーブおよびシールスリーブの切断（肉厚3.4 mmまで）

本来の目的を超えた使用や許可されていない改変は不適切とみなされます。　不適切な使用により生じた損害については運営者が責任を負うものとします。

この工具は絶縁されておらず、感電から身を守ることはできません。

使用目的には、これらの操作手順の遵守も含まれています。使用する前に必ず全文をお読みください。

警告！

鋭利な刃物にご注意ください！

鋭利な刃物の取り扱いは危険です。　そのため、作業中はツールを慎重に取り扱うようにしてください。

警告！

鋭利な刃による危険！

工具の運搬は、必ずロックした状態で行ってください。運搬中は、刃が工具の中央に位置している必要があります。

危険！

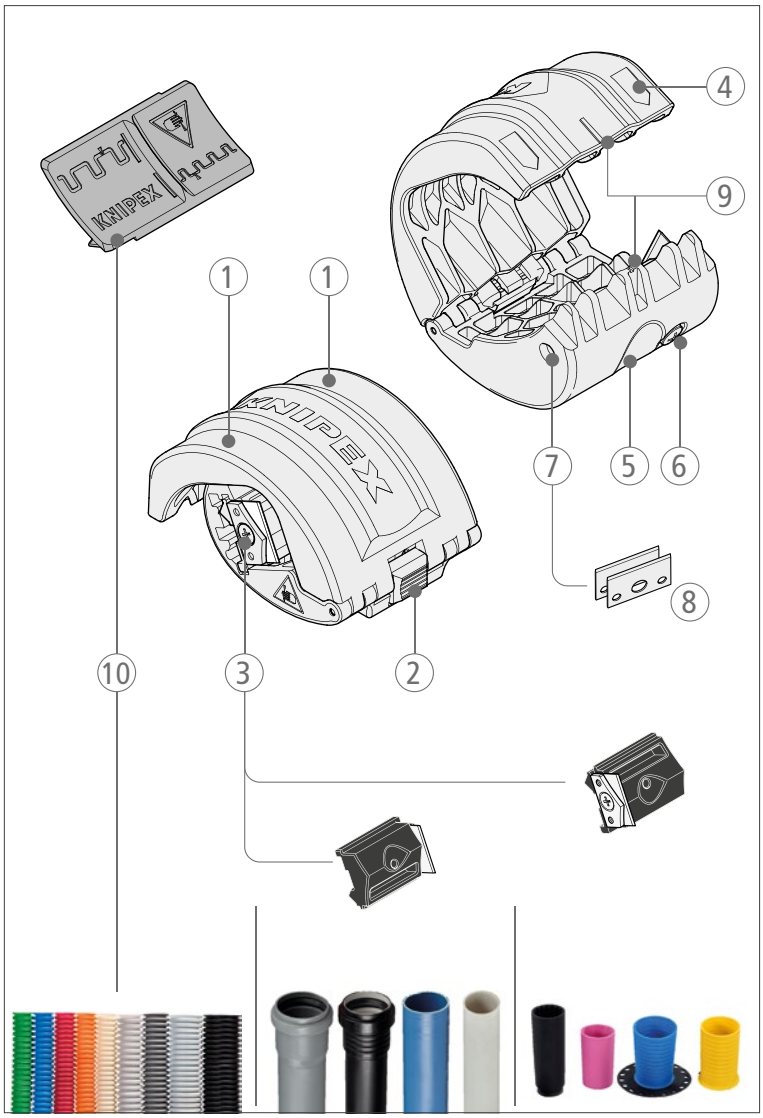
感電による生命の危険があります！

切断作業を行う前に、すべてのケーブルの通電を遮断してください！

通電していないケーブルや配線でのみ作業を行ってください！

3　デザインと機能

3.1 デザイン



デザイン KNIPEX BiX

1　指のくぼみ
2　開閉機構のロック
3　ブレードブロック
4　回転方向を示す矢印
5　親指用くぼみ
6　ブレードブロックを固定するための固定ネジ
7　交換用ブレードを取り出すための開口部
8　替刃
9　切断線の目印
10　位置決め補助機能付き波形パイプ切断インサート

3.2 機能

KNIPEX　BiX　を使用すれば、高圧パイプ、HTパイプ、防音パイプ、電気配線管などのプラスチックパイプを正確に切断することができます。さらに、この工具は、細かい波形や粗い波形の波形管の切断や、さまざまなメーカー（USH、Tece、Haasなど）のドリップスリーブやシーリングスリーブの切断にも適しています。

4　操作方法

この工具のさまざまな用途に対応するため、ブレードブロックの位置を調整できる機能と、波形管用カッターインサートが用意されています：

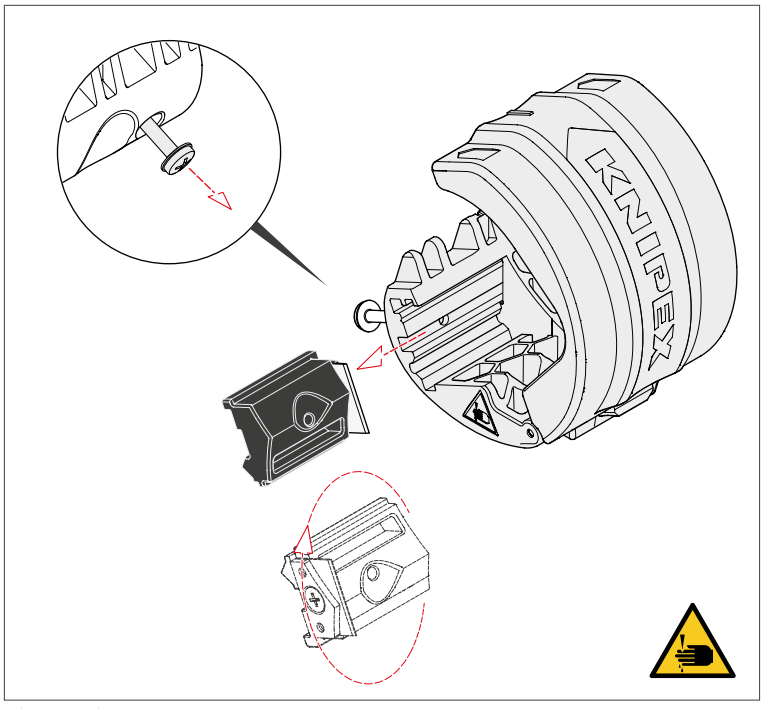
- プラスチックパイプの切断：刃を工具の中央に配置
- ドリップスリーブおよびシーリングスリーブの切断：刃を工具の外側に配置
- 波形パイプの切断：刃を工具の中央に配置し、波形パイプ用切断インサートを使用

4.1 ブレードブロックの位置調整

用途に応じて、ブレードブロックを適切な位置にセットする必要があります。その際は、以下の手順に従ってください：

1. 工具を閉じた状態で、ブレードブロックを固定しているネジを緩めてください。注意：脱落防止ネジを回しすぎないようにしてください！

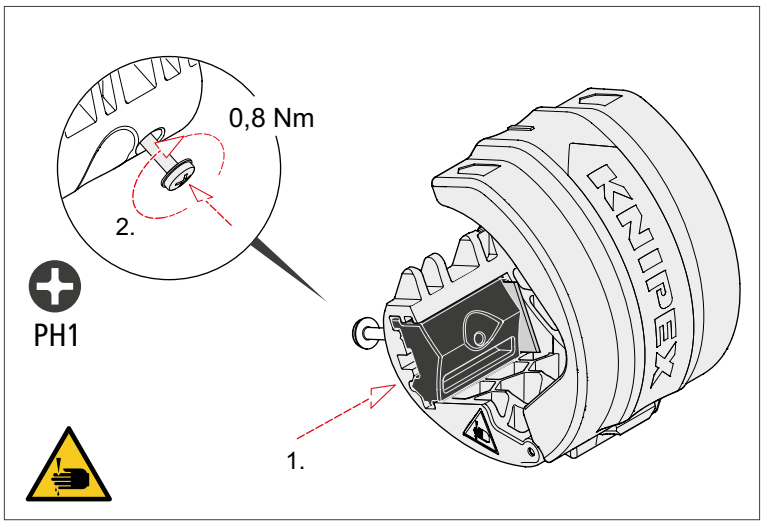
2. ラチェットを操作して工具を開き、ブレードブロックを取り外してください。
   必要な工具：
   ネジを傷つけないよう、状態の良いPH1ドライバーを使用してください。



ブレードブロックをガイドから取り外す

4.1.1 プラスチックパイプおよび波形パイプの切断におけるブレードブロックの位置決め

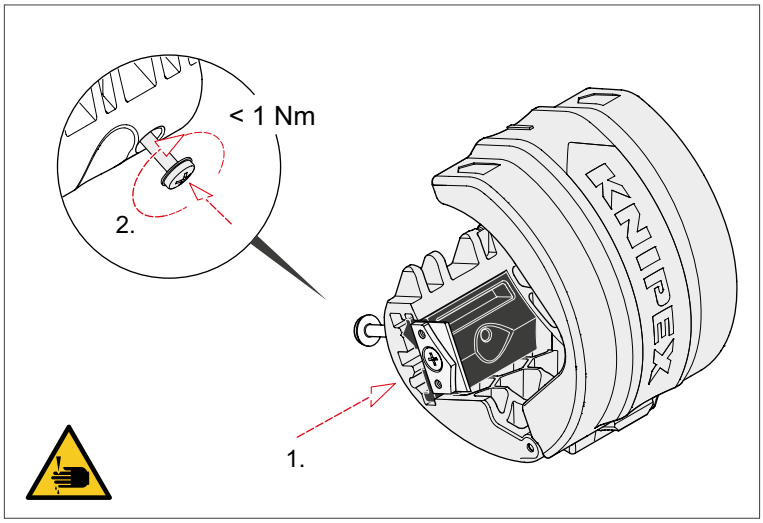
1. 刃を先頭に、ブレードブロックをガイドに差し込み、最大トルク0.8 Nmでネジを締め付けてください。刃は工具の中央に位置します。



プラスチックパイプおよび波形パイプの切断におけるブレードブロックの位置

4.1.2 ドリップスリーブおよびシールスリーブの切断におけるブレードブロックの位置

1. ブレードブロックを、ブレードが工具の外縁に当たる位置になるようにガイドに差し込んでください。ネジは最大トルク0.8 Nmで締め付けてください。



ドリップスリーブおよびシールスリーブの切断におけるブレードブロックの位置

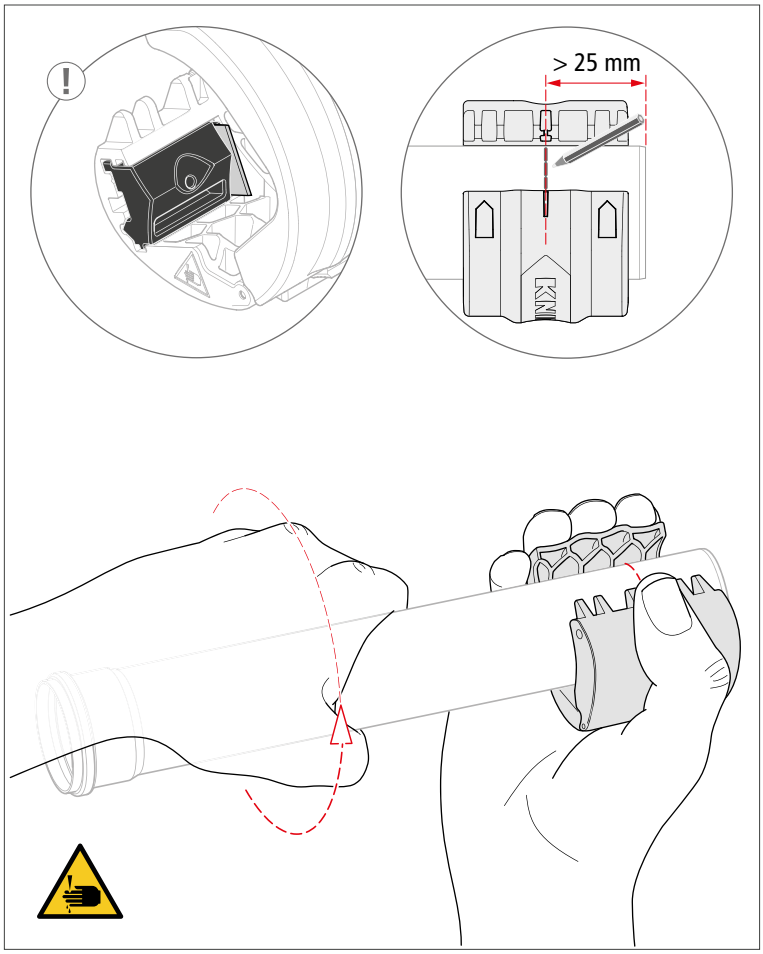
4.2 プラスチックパイプの切断

プラスチックパイプを切断する際は、ブレードが工具の中央に位置している必要があります(「ブレードブロックの位置決め」の章を参照)。

危険!

感電による生命の危険があります!

切断作業を行う前に、すべてのケーブルの通電を遮断してください!
通電していないケーブルや配線でのみ作業を行ってください!
特に、内部に電線が通っている波形管の場合は、電線の損傷やそれによる危険を防ぐため、工具に波形管用カッターインサートが装着されていることを必ず確認してください。



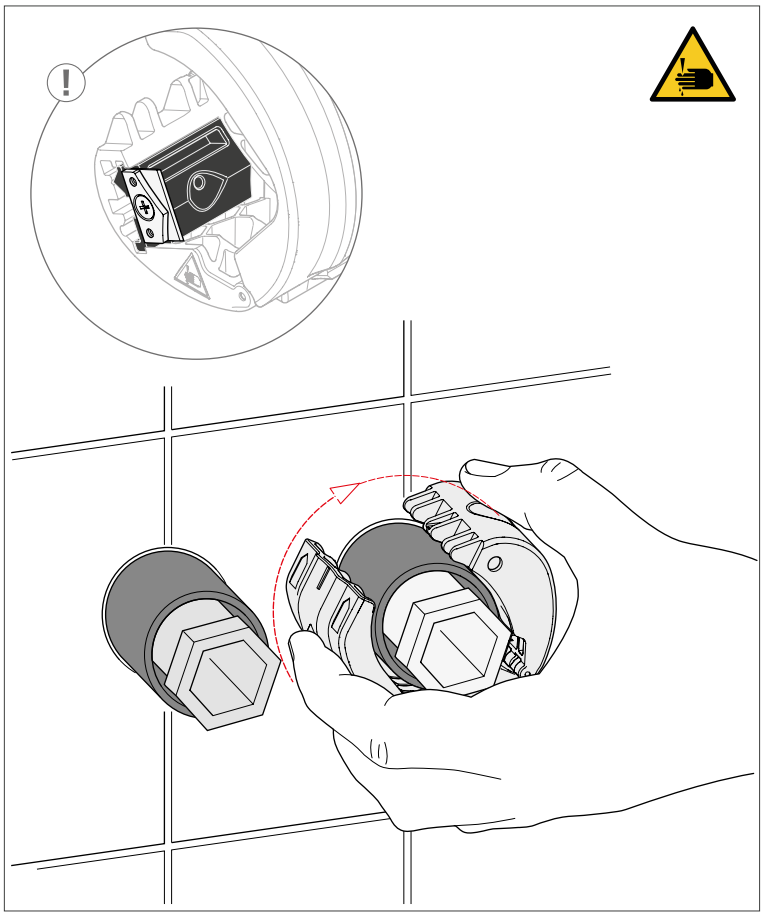
プラスチックパイプの切断

1. ラチェットを操作して、工具を開きます。
2. 工具をパイプに巻き付けます。
3. 工具の目印を参考にして、切断線を決定します。切断する部分は、少なくとも25 mmの長さが必要です!
4. 指掛けと親指掛けを利用して、工具をしっかりと固定してください。パイプを、矢印の方向に工具内で少なくとも2回回転させてください。
   注意: 最初の回転は下切り用(工具に軽く圧力をかけるだけ)であり、それ以降の回転は完全に切断するためのものです。

切断された部分は工具内に残り、落下することはありません。

4.3 ドリップスリーブおよびシールスリーブの切断

ドリップスリーブおよびシールスリーブを切断する際は、ブレードが工具の外側に位置している必要があります(「ブレードブロックの位置決め」の章を参照)。



ドリップスリーブおよびシールスリーブの切断

1. ラチェットを操作して、工具を開きます。
2. 工具をスリーブに巻き付け、軽く圧力をかけながら壁(タイル)に直接当ててください。
3. 工具を、矢印の方向に少なくとも2回、スリーブの周りで回転させてください。

4.4 波管の切断

波形パイプ切断インサートを使用すると、粗い溝構造や細かい溝構造を持つ波形パイプを、波の頂点で正確に切断することができます。一体型の位置決めガイドにより、波形パイプを正確に位置合わせすることができ、精密な切断結果が得られます。

波形パイプを切断する際は、刃が工具の中央に位置している必要があります(「刃ブロックの位置決め」の章を参照)。

危険!

感電による生命の危険があります!

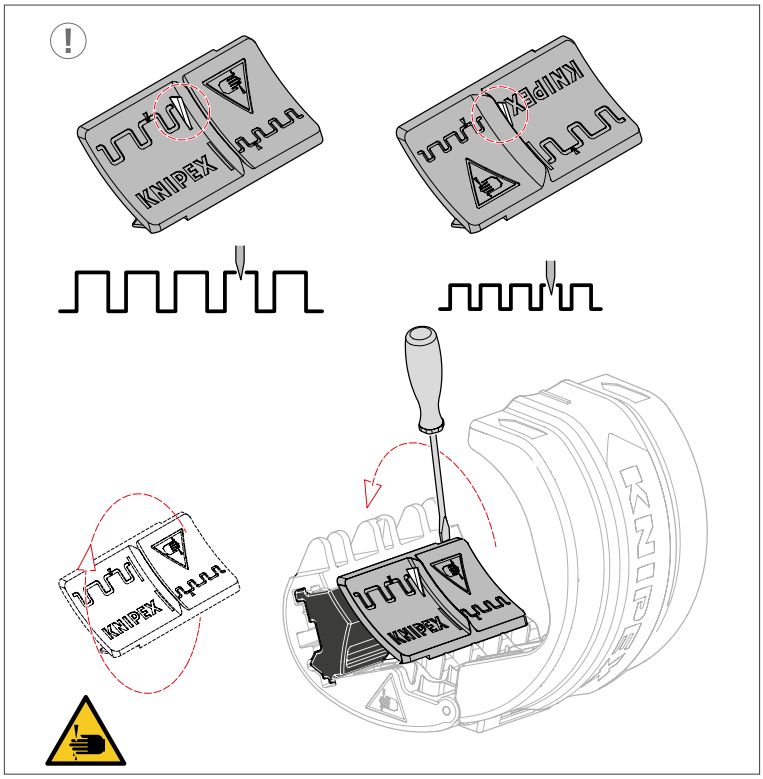
切断作業を行う前に、すべてのケーブルの通電を遮断してください!
通電していないケーブルや配線でのみ作業を行ってください!
特に、内部に電線が通っている波形管の場合は、電線の損傷やそれによる危険を防ぐため、工具に波形管用カッターインサートが装着されていることを必ず確認してください。

使用にあたっては、コルゲートパイプ切断インサートに2つの異なる位置が設定されています:

- 細かい波形:刃の横に「細かい波形」のマークがある場合(→ 刃と位置決めガイド間の間隔が狭い)
- 粗い波形:刃の横に「粗い波形」のマークがある場合(→ 刃と位置決めガイド間の間隔が広い)

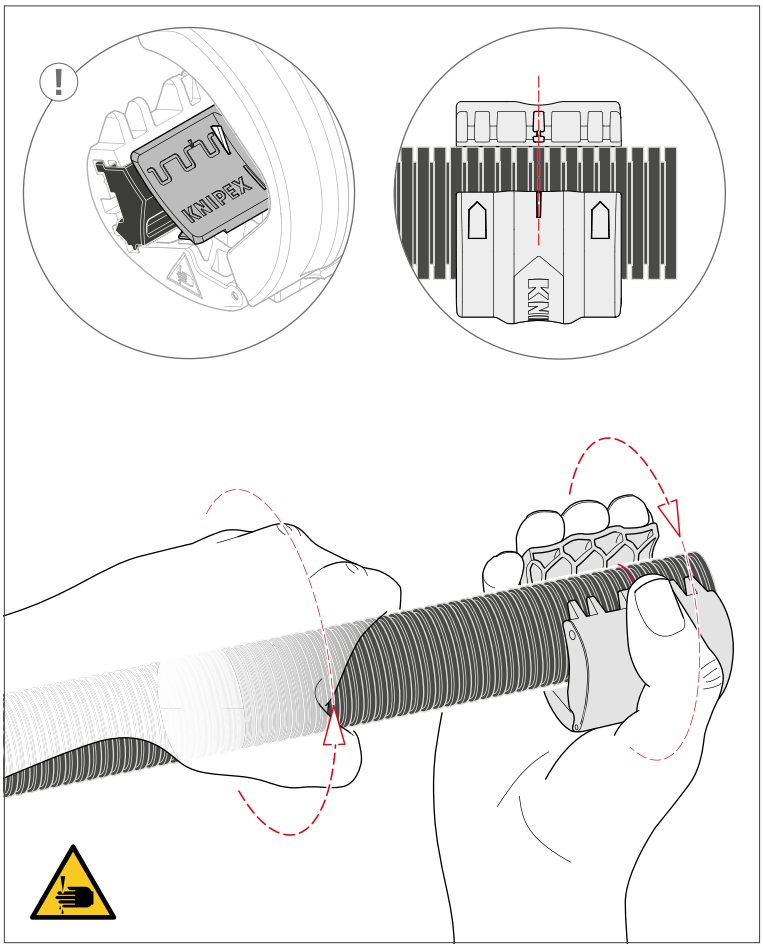
注意: この工具は、市販されている多くの波形パイプに対応しています。ただし、波形のプロファイルによっては、一部のタイプで切断品質が低下する場合があります。スリット入りまたは多層構造の波形パイプには使用できません。

1. ラチェットを操作して、工具を開きます。
2. 波形パイプのプロファイル(細かいか粗いか)に応じて、波形パイプ切断用インサートを正しい位置に工具にセットしてください。



波形パイプ用切断インサートの正しい取り付け方法

3. 工具をパイプに巻き付けます。
4. 工具の目印を参考にして、切断線を決定します。



波形パイプの切断

5. また、位置決めガイド（ガイド溝）がパイプの波の谷に正しく収まっているか確認してください。
6. 軽い圧力をかけながら、回転方向（矢印）に沿って工具をパイプの周りで回転させてください。

注意：
すでに設置済みの波形パイプや、大きなロールから切り出す波形パイプの場合、回転の可動範囲が制限されます。
そのため、工具を半回転ずつ段階的に回転させ、その後、把持位置を変更してください。

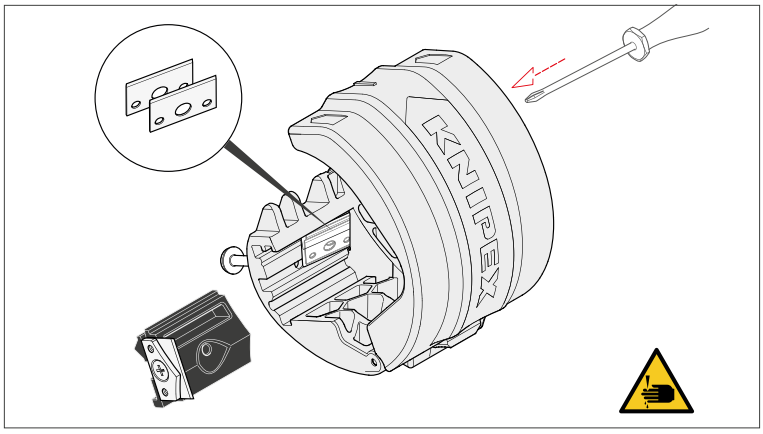
5　保守作業

使用するたびに、工具のガイド面と刃先接触面を布で拭いてください。

5.1 ブレードの交換

5.1.1 摩耗したブレードを取り外す

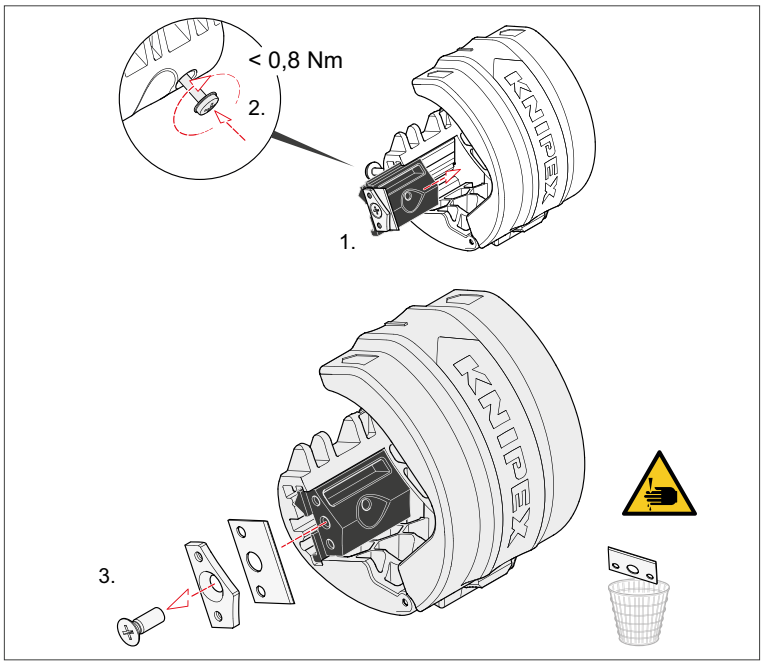
1. 前述の手順に従って、ブレードブロックを取り外します。
2. ドライバーを使用して、交換用ブレードをツールから押し出します。
3. 交換用ブレードを1枚取り出し、もう1枚を再びツールに押し込みます。
4. 刃が外側を向くように、ブレードブロックを再び取り付けてください。
5. ツールを閉じ、ブレードブロックをネジで固定してください。



交換用刃の取り外し

ヒント:
ネジを緩めたり締めたりする際は、工具をテーブルの上に置いてください。そうすることで、ネジに適切な力を加えることができ、ネジを傷つけることを防げます。

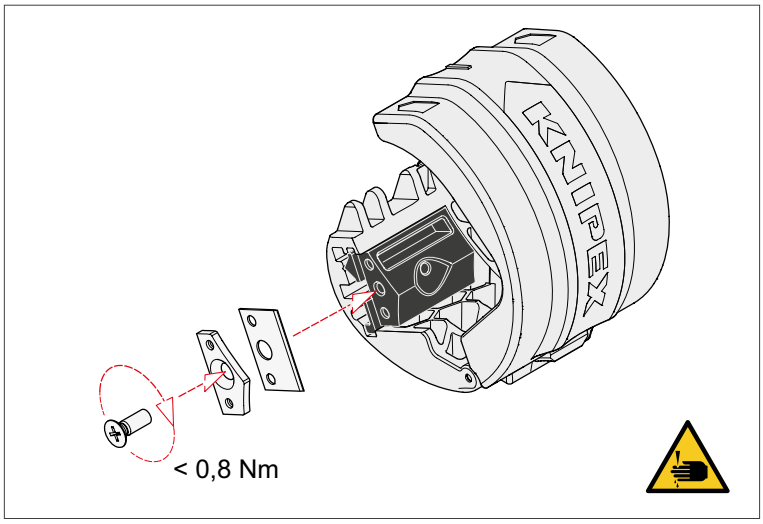
6. 固定プレートを留めているネジを緩め、固定プレートと古い刃を取り外します。
   注意：刃は鋭利です！



ブレードを取り外す

7. 使用済みの刃は、適切な方法で廃棄してください。

5.1.2 新しい刃の取り付け



刃の取り付け

1. 新しい刃を刃ブロックにはめ込みます
2. 保持プレートを刃の前に置き、所定の位置合わせマークに合わせて位置を合わせます。
3. ネジで両部品を固定します。
4. その後、この工具をプラスチックパイプの切断に使用する場合は、前述の手順に従って刃ブロックの位置を変更してください。

6 技術データ

6.1 技術データ

技術データ	ユニット	
品番 パイプカッター	–	90 22 10 V01
品番 交換用刃	–	90 22 10 E01
品番 交換用刃ブロック	–	90 22 10 E02
品番 波管用切断インサート	–	90 22 10 E03
ボルトの締め付けトルク	Nm	0,8
ボルトの締め付け	–	PH1
長さ	mm	72
幅	mm	40
高さ	mm	50
波形パイプ切断用インサート付き時の重量 約	g	72
特徴	–	ロック機能付

7 処分

工具を分解した後は、各部品を適切な方法で再利用してください。

KNIPEX-Werk
C. Gustav Putsch KG

42337 Wuppertal

Tel.: +49 202 – 47 94-0
Fax: +49 202 – 47 74 94

info@knipex.com
www.knipex.com